



2010年2月10日

エア・ウォーター株式会社  
(証券コード 4088)  
東証・大証 各一部・札証

## 農業生産法人設立による農業参入について ～安全・安心・おいしい野菜を北海道から～

当社は、新規事業として農業に参入することとし、農業生産法人**株式会社エア・ウォーター農園**を設立しました。その第一歩として、千歳市釜加にある既存の農業生産施設を活用した野菜工場を運営してまいります。

本農園では、当面、生鮮トマトおよびベビーリーフ等の葉菜類を栽培する計画であり、3年後には売上高4億円を目指してまいります。

### 1. 当社の農業参入について

#### < 農業参入の基本方針 >

日本経済が大きな転換期を迎える中、**経済の成長や雇用維持**の観点から**農業に対する期待**が高まっており、企業をはじめとする新たな経営主体が、こうした期待に応えていく必要性は従来以上に大きくなっています。

- (1) 当社は、産業ガスやケミカルなど**既存部門の技術を活用**しつつ、日本農業の基盤強化と新たな発展のために力を尽くしてまいります。
- (2) これまで農業に携わってこられた方々との**連携・融合**を基本とし、協力を仰ぎながら、新たな展開に役立つチャレンジや提案を行います。また、周辺農家とも連携し、**地域の農業基盤と競争力の強化**に貢献できるよう力を尽くしてまいります。
- (3) 地球温暖化の影響は農業にも及びつつあり、自給率 200%を誇る**北海道農業の重要性**は益々高まるものと考えられます。こうした中、

- ・ これまで本州から輸送されていた野菜を道内生産に切り換え、**安全・安心の野菜づくり**と**地産地消**を進める。
- ・ 北海道の気候条件を活かして、全国的な**端境期**にも野菜を**安定的に供給**する。
- ・ **野菜工場などの先進技術**を取り入れ、北海道農業の裾野を広げる。
- ・ 観光農業や農産品の加工による付加価値向上を目指す。

など、農業を通じた北海道の振興に尽力してまいります。

- (4) 農業は自然と向き合うが故に難しい面が多々あり、経験のない企業の参入は極めて大きなリスクを伴います。当社は、**有力食品メーカー**であるカゴメ(株)やエスビー食品(株)、さらには地元卸売市場や普及指導員等と**緊密な連携**をとり、**初期の技術習得と販路の確保**を確実にするとともに、これら企業等の種々の蓄積をさらに発展させる相乗効果を生んでいきたいと考えています。
- (5) CO2 削減等地球温暖化への対応が農業にも求められる中、当社は、長期的視点から**環境対応型新技術の導入**や**省エネルギー化**を推進していきます。また、**野菜の養液栽培や環境制御技術**など農業分野における新技術の導入を積極的に進め、日本農業の発展に役立ててまいります。
- (6) 日本の農業人口は**急速な減少と高齢化**の波にさらされており、就農者の平均年齢が全国平均より 10 才若いといわれる北海道においても、これを避けられない状況となっています。当社は、農業分野における**雇用の促進**を図るとともに、**持続性のある農業運営**を目指して、農業分野の新しいビジネスモデルを確立してまいります。

## 2. 農業法人の設立について

- (1) 当社は、**生産と販売**の双方を担う経営体を目指します。
- (2) 環境制御装置(温度・湿度・CO2 濃度・日射量等のコントロール)や養液栽培装置を導入した**野菜工場**を運営し、**生鮮トマト及び葉菜類**(ベビーリーフ、リーフレタス等)の**周年栽培**を行います。
- (3) **カゴメ(株)、エスビー食品(株)**と緊密な連携を図って、栽培技術研修や人材派遣を受け、習熟度を高めるとともに、両社ブランドの野菜生産と販売についての契約を締結します。また、地元卸売市場との契約取引や**普及指導員**の指導を得て、**技術習得と販路確保**に万全を期します。
- (4) 温暖化問題に対応するため、ボイラー排ガス回収による CO2 活用( トマトの成長促進)や省エネルギー対策(冬季の効率的暖房等)を実行します。さらに今後、バイオ

ガスの活用など**特色あるエネルギー対応**を検討します。

- ( 5 )多くの観光客が訪れる新千歳空港の地の利を活かし、直販を含む**観光農業**の実践を目指します。また、栽培する野菜類の**加工食品化**についても検討します。
- ( 6 )環境制御型ガラスハウスへの設備導入に伴い、これらに要する費用について、**行政支援**(農林水産省所管の補助金)をお願いしています。

### 3 . 今後の展開について

- ( 1 )3年後の2012年度における**売上高約4億円**を目指します(生鮮トマト及び葉菜類)。
- ( 2 )千歳市の株エア・ウォーター農園において、ガラスハウス外の農地(10ha)を含め、**複数種の野菜を栽培**します。
- ( 3 )さらに他地域への展開を目指し、道内を中心に**野菜づくり(野菜工場)**の適地への進出を行います。

以 上

————— 【本件に関するお問合せ先】 —————

エア・ウォーター株式会社 広報・IR室

〒542-0083 大阪府中央区東心斎橋1丁目20番16号

TEL . 06-6252-3966 / FAX . 06-6252-3965